

SDGs活用による共有価値の創造
—フオーチュン評価の伊藤園も例に考える—
Creating Shared Value by Utilizing SDGs

ISAP2017 2017年7月27日



笹谷秀光 株式会社伊藤園 常務執行役員
Hidemitsu Sasaya ITO EN,LTD.

Sustainable Brands

- 1 持続可能性Sustainability
- 2 SDGs の活用
(共有価値創造CSV)
- 3 発信Public Relations

PARIS 1981



PARIS 2007～

自転車シェアリング Vélib (ヴェリブ)



写真：PARISINFO
ホームページより

TOYAMA ← パリ ヴェリブ



企業の社会的責任 CSR

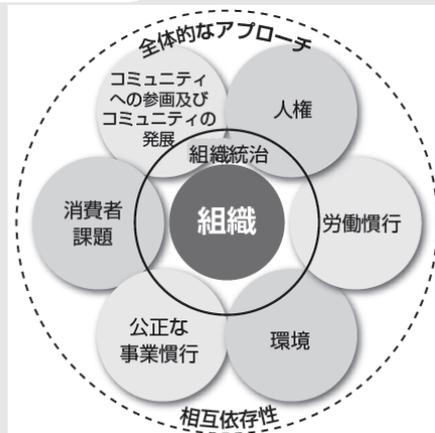
2010年

慈善活動 CSR
Philanthropy



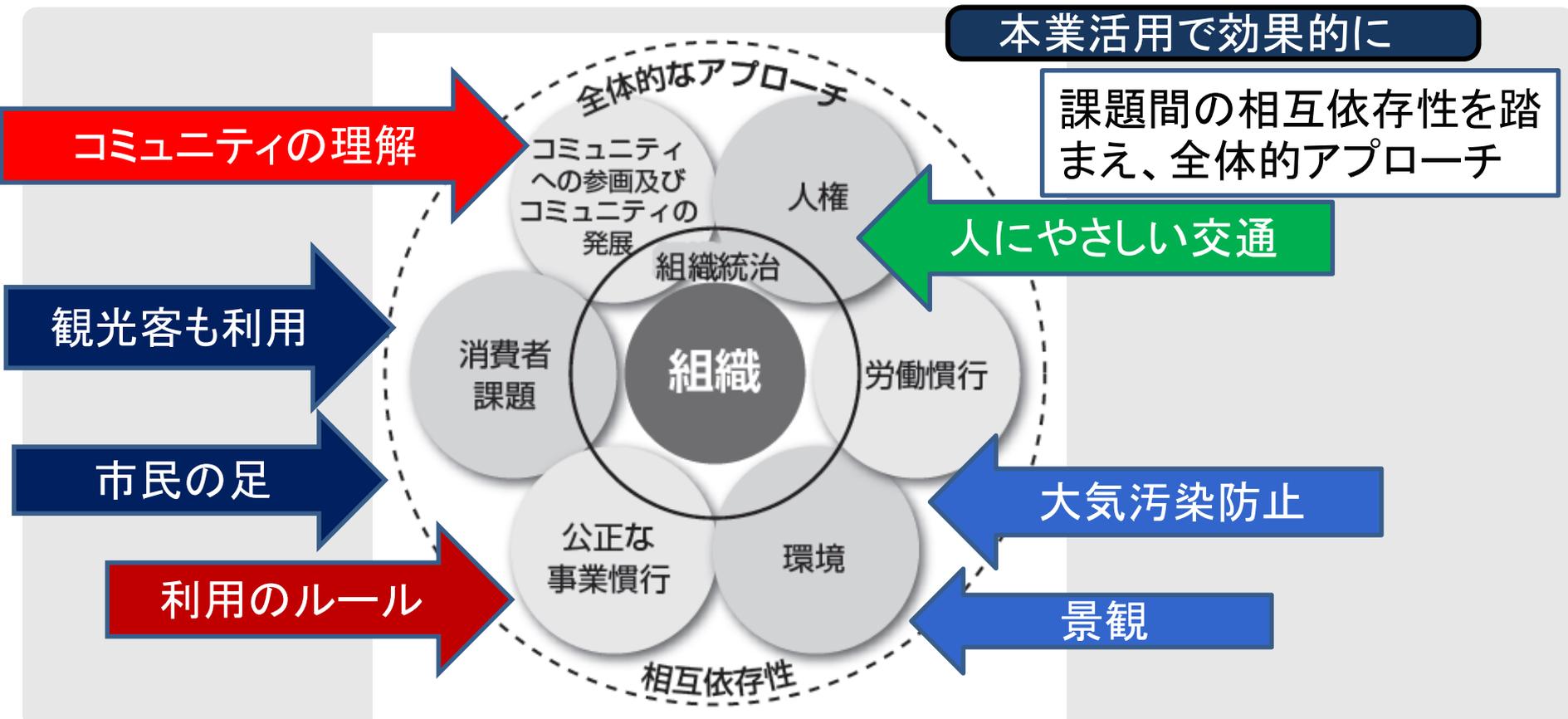
社会的責任の手引
(ISO26000)

本業のCSRへ



「7つの中核主題」の図の出典：ISO26000(JISZ26000) 以下同じ

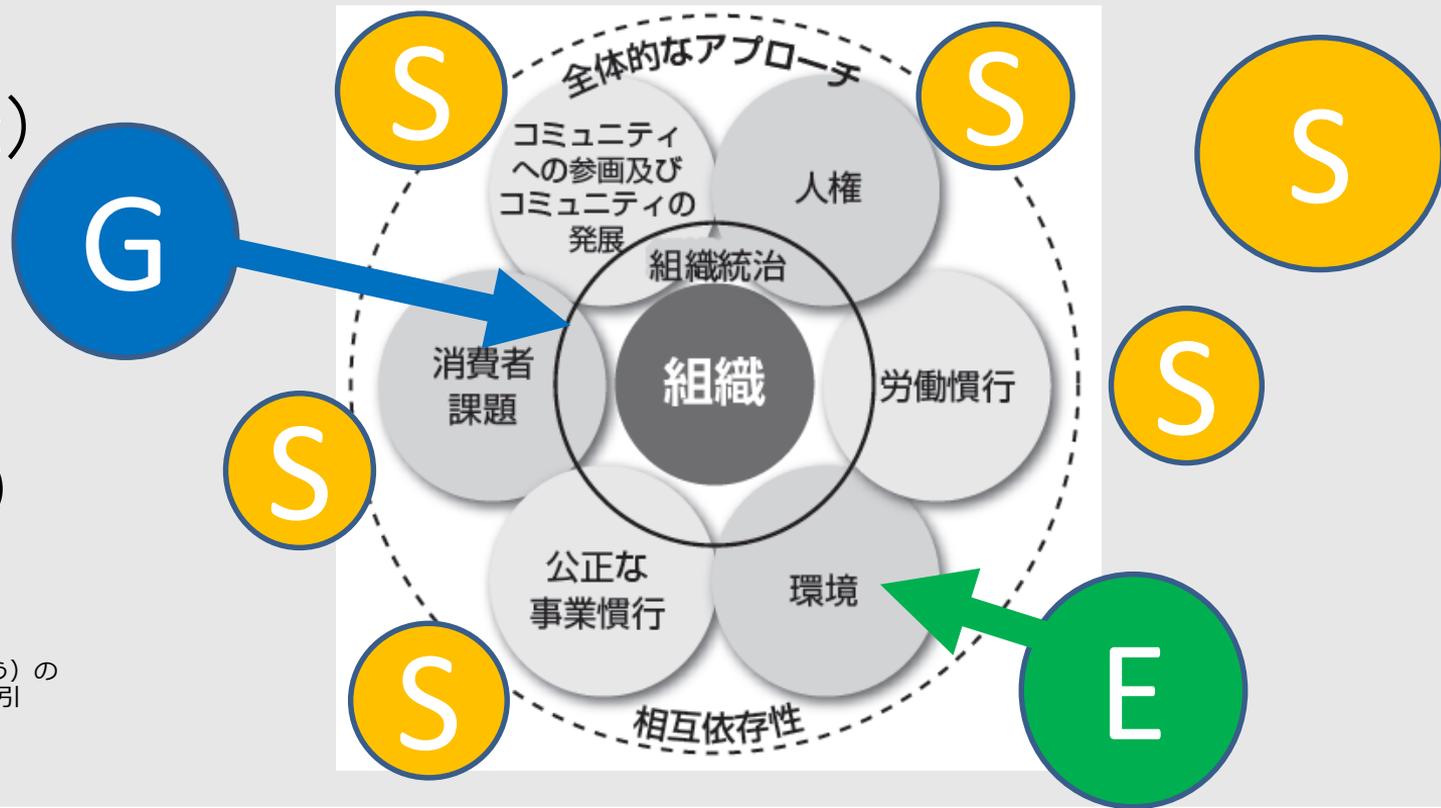
PARIS Vélib (ヴェリブ)



CSR(ISO26000)and ESG

国際標準の体系より

環境
(Environment)
社会
(Social)
ガバナンス
(Governance)



(注) 7つの課題(中核主題という)の
図の出典: 社会的責任に関する手引
ISO26000(JISZ26000)より、
以下同じ

持続可能性の共通言語－「持続可能な開発目標（SDGs）」 A Common Language for Creating Sustainable Societies

2015年

2030年目標



図版は国連広報センターより

ISO26000 and SDGs

SDGsをISO26000の7つの中核主題の
主に関係あるところに位置付けた



17の目標と
169項目の達成基準

ISO26000

7つの中核主題



(注) 7つの中核主題の図の
出典：社会的責任に関する手
引ISO26000(JISZ26000)

(注) SDGsのロゴは
国連広報センター作成、

PARIS Vélib (ヴェリブ)



To Do リスト「7つの中核主題」の図の出典：ISO26000(JISZ26000) 以下同じ

CSV and SDG s

CSV (Creating Shared Value、共有価値創造)

SDGsの両面

経済価値
(チャンス)

社会・環境
(リスク)

両面の
バランス

世界の共通言語 (SDGs) を用いた国内外
ステークホルダーとの関係強化など

事業継続リスク (人権、環境、労働、腐敗
防止等の問題がSDGsの目標と深く関連)

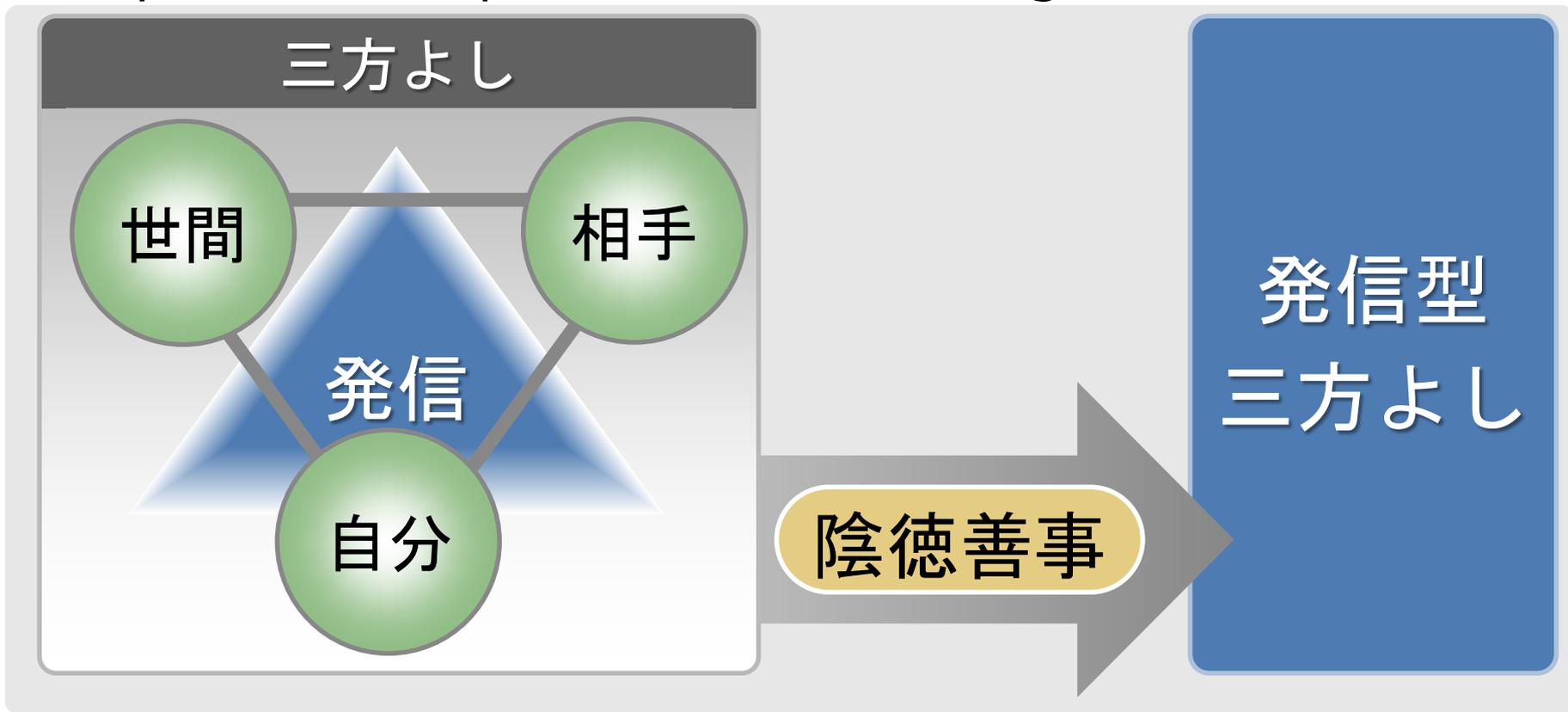
経済価値の実現
と競争優位

環境・社会課題解決と
競争優位の同時実現
(CSV)

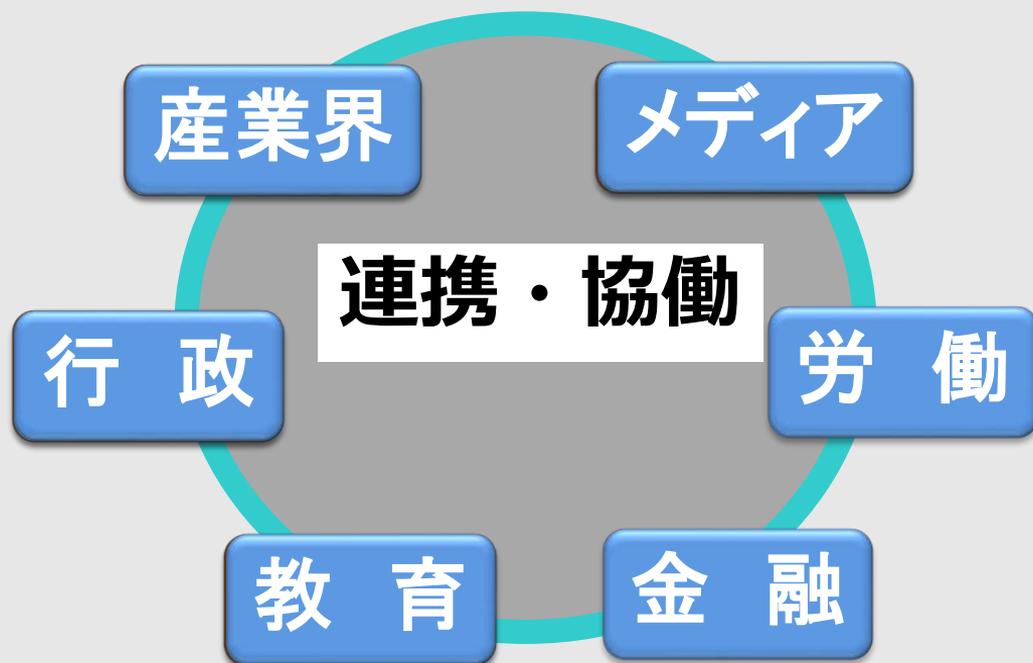
社会・環境
リスク回避と
課題解決

「共有価値の創造」の日本的理解

A Japanese Interpretation of “Creating Shared Value”



活動の共通基盤(プラットフォーム)



産官学金労言

NPO/NGO

協創力がポイント Essential Points

協創力

連携・協働で新たな価値を生み出す力

協働の
プラットフォーム

協 創

共有価値の
創造

学びと発信力

力

持続可能な
ブランド

社会的責任に関する世界の流れ Global Social Responsibility Trends

2015年は、ESG元年

「パリ協定」

E



A grid of 17 Sustainable Development Goals (SDGs) icons, each with a number and a brief description in Japanese. The grid is titled 'SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS' at the top. The goals are arranged in three rows: Row 1 (1-6), Row 2 (7-12), and Row 3 (13-17). The icons represent various areas such as poverty, climate action, gender equality, and clean energy.

E

S

「コーポレート
ガバナンス
コード」

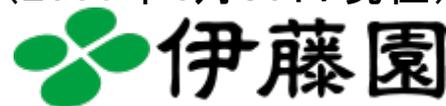
G

2020

東京五輪・パラリンピック

2030

株式会社伊藤園 ITO EN, LTD. (2016年4月30日現在)



【設立】昭和41年8月22日

【資本金】19,912,300,000円 【従業員数】5,340名

【支店、営業所及び出張所】全国30地区199拠点

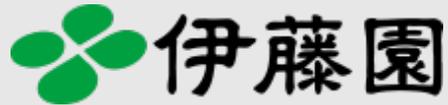
【工場】静岡相良工場、浜岡工場、福島工場、神戸工場、沖縄名護工場

【売上高（連結）】475,866百万円

【当期純利益（連結）】13,693百万円 (2017年4月期)



「茶畑から茶がらまで」 “From Tea Plantation to Used Tea Leaves” Tea-Producing Region Development Project



茶産地育成事業（新産地事業）



フォーチュン誌 「世界を変える企業50選」 伊藤園が18位
Ranked 18th in The Fortune Change the World 2016 List

茶殻リサイクルシステム

Used Tea Leaves Recycling System



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



次世代のためのレガシー創出 A Legacy for Tomorrow

「社内検定認定制度」ロゴマーク



「伊藤園ティーテスター社内検定」として厚生労働省に認定

お~いお茶 新俳句大賞 HAIKU

学校教育、「英語俳句の部」

第28回

第1回からの累計応募句数
3000万句 突破



SDGs 活用でバリューチェーンを強化 Value Chains and SDGs

バリューチェーンを通じて生み出す価値

調達

高い原料調達力



2 飢餓をゼロに

8 働きがいも経済成長も

12 つくる責任 つかう責任

6 安全な水とトイレを世界中に

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

13 気候変動に具体的な対策を

14 海の豊かさを守ろう

15 陸の豊かさも守ろう

バリューチェーンを支える基盤

- ▶ 製品の安全性確保
- ▶ 人権の尊重・コンプライアンス
- ▶ ビジネスモデルと一体化した財務マネジメント

※SDGsの活用は主に関連する項目をのしたものです。

製造・物流

ファブレス方式

NS システム



茶殻リサイクルシステム

品質管理体制

生産物流プロ

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

商品企画・開発

商品開発力



幅広い製品ラインアップ

特許

3 すべての人に健康と福祉を

営業・販売

ルートセールス



小売店

ティーテイスター制度

お茶の品質向上

4 質の高い教育をみんなに

11 住み続けられるまちづくりを

1 貧困をなくそう

5 ジェンダー平等を実現しよう

16 平和と公正をすべての人に

17 パートナーシップで目標を達成しよう

「世界のティーカンパニー」へ

チーム伊藤園



「お茶で、世界を、笑顔に。」



※伊藤園の登録商標です。

新グローバル時代

相次ぐ
ユネスコ 文化遺産
登録

東京五輪・
パラリンピック
2020

ICT進歩

クールジャパン

インバウンド

レガシー

地方創生

+

国際都市東京

+



日本創生